

ごあいさつ

一般社団法人 全国漁業無線協会
会 長 橋ヶ谷 長生

我が国の漁業者は、重要なタンパク源である水産物を消費者の皆様へ安定的に供給するため、世界第6位の広さを誇る我が国周辺の排他的経済水域内は無論のこと、日本の裏側を含む世界中の大海原において、昼夜問わず漁業を展開しています。

こういった広大な洋上で操業を展開している我が国漁業者とこれを陸上から支える人々との間、あるいは離れて操業する漁船と漁船とのコミュニケーションを可能にするものとして、漁業無線は重要な役割を担ってきています。

情報通信技術の発展や関連施設の整備が著しく進んでいる今日ではありますが、広大な洋上においては、場所や時間に囚われることなくコミュニケーションを維持していくことは、陸上に比べてまだまだ容易なものとはなっていません。

一方、洋上では、操業に関する漁業関係者間のコミュニケーション以外にも、遭難者の捜索、漂流物や空からの飛翔体（北朝鮮発射ミサイルなど）による海難事故防止のための安全情報の収集・発信など、大海原における目や耳としての社会的な役割の一端を担うものとして、さらには、大規模災害発生時の陸上における重要な代替通信手段として、漁業無線のニーズは範囲を広げてきています。

本協会は、昭和30年の設立以来、漁業無線の普及、周波数の割当確保及びその運用調整のほか、無線技術の調査研究、無線技術者の養成と研修、さらには、時代の要請に応じた新たな無線機器の全国的な導入による通信体制の維持支援など、漁業無線に関する我が国唯一の全国中央団体として、長年に亘り積極的に活動して参りました。

今後とも、内閣総理大臣の認可を受けた一般社団法人として、これら活動に取り組むとともに、昨今の情報通信技術の進展や社会情勢等を踏まえつつ、漁業無線においてもデジタル通信技術による文字や画像等のデータ通信を積極的に導入する等、従来の漁業無線の枠を超え、新時代に即した漁業無線の発展・普及に、協会会員と力を合わせて努めて参る所存でありますので、是非とも皆様のご力強いご賛同とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。